

コロナ禍を乗り越えよう、世田谷区。

感染防止策と正確な知識で、新型株を“正しく恐れる”毎日を

いそだくみこ

電機メーカー勤務、衆議院議員秘書を経て2019年4月に区議に初当選。
本号では第4回定例会と、日々の活動報告です。



2022. 早春号

特集 新型コロナウイルス感染症対策 東京都の無料PCR検査の受診等について

東京都では、感染症対策と日常生活の回復の両立を図るため、健康上の理由等によるワクチン未接種者及び12歳未満の子ども並びに感染拡大期の感染不安者への無料検査を開始しました。

●無症状者に限ります。症状がある方は医療機関を受診ください。

無料検査対象者	実施日*
ワクチン接種証明が必要だが健康上の理由により接種を受けられない方、および12歳未満の子ども	2021年12月23日～
あらかじめ感染不安を解消しておきたい事情がある方	2021年12月25日～

○世田谷区内で東京都の無料PCR検査等が受けられる場所*

ウェルシア薬局砧店、千歳台店、千歳台2丁目店、代田区民センター、宮坂区民センター（原則予約制）

世田谷区の取組み

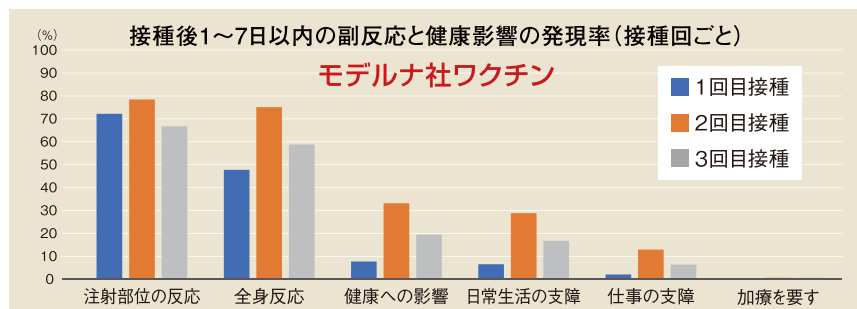
薬剤師会所属の薬局239か所で簡易検査キット（抗原定性検査）を無料配布

※最新の情報は東京都や世田谷区、ドラッグストアのHPなどでご確認ください。

! ご自身で抗原検査キットを薬局などで購入する場合は、国が承認した「体外診断用医薬品」をお選びください。

ワクチン接種、3回目の副反応は？

2回目の接種では、働く世代以下ではおおむね半数以上の方が発熱を経験し、副反応に苦しんだ声が多く聞かれました。3回目の接種でも副反応がどれだけ出るのか気になるところです。発熱や腕の腫れの出現率がやや高かったモデルナワクチンは、3回目の接種量がこれまでの1/2になるので副反応は有意に減少しているとの米国CDCの調査報告もあります。



皆様のご意見、ご質問もお待ちしております。

新型コロナ、まだ油断はできません。かかったかなと思ったら……相談窓口

感染予防のため、相談はまずかかりつけ医にお電話で。相談できる医療機関が見つからないときは↓

●世田谷区発熱相談センター（平日8:30～17:15）03-5432-2910

●土日休日・平日夜間の相談は東京都発熱相談センター（24時間受付）03-5320-4592

活動報告

世田谷落ち葉ひろいリレーに参加 ごみ減量を考える

今年も成城さくら並木、成城4丁目緑地、喜多見にぎりや、慶元寺の落葉はきに参加。農家の方にけやきやくぬぎの落葉の活用方法を教わり、一部自宅で堆肥化しています。多くの方が気軽に参加できるように広報周知に努め、また女性や子どもも使いやすい小型ほうきの拡充など、ご要望を反映していきます。



成城北口の桜並木で落葉はき

「プラスチック・スマートプロジェクト」の一環として、使い回し傘袋の周知



2019年に提案した使い回し傘袋が、区民センター・区立図書館などに順次設置されています。今後、設置した施設に寄せられたご意見を聴取し、必要な改良を加えつつ区施設の標準準備となるよう推進していきます。

使い回し傘袋について市民勉強会で説明

大田区の創業支援施設・六郷BASEを会派視察

22年5月以降に世田谷区の創業支援施設「ものづくり学校」が終了、リニューアルするに当たり、21年10月にオープンした大田区の「六郷BASE」を視察してきました。



令和3年 第4回定例会一般質問

コロナ自宅療養者の安否確認について

Q1 区内の新型コロナ療養者で容体が急変して自宅で亡くなった事案が2020年4月と2021年8月に2件発生している。神奈川県では、自宅療養に入る前に①生活の自立度②緊急連絡先③同居人やペットの有無④ワクチン接種歴などを聞き取り調査しているが、区でもこのような調査を行っているか。また患者宅に電話をかけてもつながらず事態が把握できないことはあるか？

A 第5波の感染拡大時には患者の聞き取り調査が十分に出来ていなかった。神奈川県にも視察に行き、電子申請なども併用して情報収集の精度を高めていく。近年、自分が登録していない電話番号からの電話は取らない人が増えている^{*}。電話番号の事前周知、今後健康観察のため架電することをご理解いただくよう努める。

見知らぬ電話番号には出ないことが多い

YES 65.3%

NO 34.7%

※セゾン自動車火災保険「電話恐怖症に関する意識調査」より

理由としては、「セールス電話で嫌な思いをした」などがあり、若年層ほど顕著です。特殊詐欺防止のため知らない電話番号には出ないよう呼びかけているサイトもありますが、コロナ疑いとなったらまず保健所やかかりつけ医療機関の電話番号は登録しておきましょう。



ものづくり学校の入居事業者の実態は？

Q2 旧池尻中を活用した創業支援施設「ものづくり学校」には21年12月現在、旧教室である34室に89社、コワーキングスペース2教室に45社も入居者登録している。活動実態は把握しているか。入居する際の審査は、運営事業者に一任とせず区が関わっているか？

A 運営事業者「世田谷ものづくり学校」が登録の審査をし、最終的には区の承諾を得て決定する仕組みとなっている。入居条件である地域イベント参加等の報告は得ている。



世田谷ものづくり学校

大田区の創業支援施設では、指定管理者とともに、区の担当者が入居希望者面接に加わっているとのこと。世田谷区も、事業者選定・育成に主体的に関わっていくことで結びつきが深まり、区内定着率も高められるのではないのでしょうか。



区のビジネスプランコンテストの今後の展望

Q3 21年秋、区の農作物を使った加工品の商品化を目指す「せたがやそだち加工品ビジネスプランコンテスト」が実施されたが、製品企画だけでなく生産体制、開始時期など事業計画まで問うもので、応募者は9件のみだった。生産農家が持っている加工品アイデアも生かせるようアイデアのみの募集も可とし、優秀作は区が生産者と結びつけるなど、応募のハードルを下げてはどうか。また農産物に限らず、ビジネスコンテストを拡大してはどうか。



審査会の様子



令和3年度入賞者

最優秀賞	●一般社団法人 北沢おせっかいクラブ 【提案プラン】野菜ピューレ
優秀賞	●株式会社ふたこ麦麦公社 【提案プラン】七味唐辛子 ●後藤醸造 【提案プラン】ハニーエール



A 21年3月よりSETAGAYA PORTという、異業種連携や地域課題解決につながる取組のプラットフォームを開始した。ここから新たなビジネス創出、若手起業家の支援をし、区内産業の活性化を図る。



ビジネス創出のためのコミュニティは、若手中心のアイデア会議になりがち。例えばシルバー人材に登録している企業退職者で法務、会計など各分野の経験者にも入ってもらえば、事業化プランを立てる手助けになるのでは？



いそだ久美子プロフィール／1966年神奈川県生まれ 県立厚木高校、早稲田大学第一文学部卒。旧姓小室。三菱電機株式会社に入社、事務系総合職として勤務。衆議院議員手塚よしお秘書に転身、2019年世田谷区議会議員選挙初当選。労働・医療政策、環境、都市計画などに取り組む。 <http://www.isokumi.com>

